

6. 指導過程

段階	学習活動・内容	時間	○教師の支援 ◎評価	資料		
つかむ	<p>1. 大阪の蔵やしきの絵を見て、気づいたことを話し合い、本時の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船や人の数が多い。 ・大きな蔵がたくさんある。 ・船で何かを運んでいる。 ・にぎやかだ。 	5分	<p>○絵からおびたしい数の船、蔵、人の様子を丁寧に読みとらせたい。</p> <p>○大阪に全国から品物が運ばれ、商業の中心であったことに気づかせるとともに、商人が力をつけてきたことをとらえさせる。</p> <p>○めあてをしっかりとらえさせるために、フラッシュカードを利用する。</p>	菱垣新綿船川口出航之図		
広げる ・深める	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50px;">めあて</td> <td>なぜ、商業がさかんになったのだろう。</td> </tr> </table> <p>2. 商業が発達した理由について資料、本文から考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕地面積が増加した。 ・職人や村人の工夫で物資の生産力が高まった。 	めあて	なぜ、商業がさかんになったのだろう。	12	○江戸時代の中頃には、耕地面積は室町時代の3倍以上に、秀吉時代の2倍以上に増えていることを読みとらせる。	耕地の増加比較グラフ
	めあて	なぜ、商業がさかんになったのだろう。				
	<p>3. 我が「原の町」はどうだったのか、博物館の展示資料から考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな建物が並んでいる。 ・家々には蔵がある。 ・お客は着物が派手で金持ちのようだ。 ・何を商売しているのだろう。 	15	<p>○原の町も商業が発達し、大きな商家が栄えたことをとらえさせ、歴史が身近なものであることに気づかせたい。</p> <p>○児童たちは事前に総合的学習で、博物館を訪問しているので、それを思い出させる。</p>	(写真資料) 原の町宿絵図 原の町宿想定模型 商家の店頭		
<p>4. 人々の生活はどのように変わっていったか、本文や絵などをもとに話し合い、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行がブームになった。 ・子どもが寺子屋で勉強した。 	10	○旅行、学問など文化が広がったことに気づかせる。また原の町でも野馬追見物の行楽客で賑わったことにも触れたい。	東海道五十三次			
まとめる	5. 本時のまとめをする。	5	○商業の発達、商人、職人、村人の成長によってなされたことを確認し、その結果、世の中が変化し、次の時代の呼び水になっていることに気づかせ、次時への意欲を持たせる。			